

南アメリカ・オセアニア 州プリント

名前

- 問1 世界の農産物生産割合（2023年）をまとめた統計において、大豆の生産シェアが世界の51.7%と過半数を占めている地域はどこですか。この地域では、ブラジルやアルゼンチンを中心に、世界的な需要に応えるため大規模な農地開発が進められています。（2026年 福岡県公立入試 類似）
1. アフリカ州 2. 南アメリカ州 3. アジア州 4. 北アメリカ州
- 問2 南アメリカ大陸のチリ中部に位置する都市サンティアゴの気候の特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 大陸北部の低緯度地帯に位置し、一年中気温が高いが、雨季と乾季がはっきりと分かれるサバナ気候に属している。 2. 南回歸線付近の大陸東岸に位置し、1月頃の夏に降水量が多く、一年を通じて温暖な温暖湿潤気候に属している。 3. 赤道直下に位置するため一年を通じて高温多雨であり、季節による降水量の変化がほとんどない熱帯雨林気候に属している。 4. 南半球の中緯度に位置し、1月頃の夏に乾燥し、7月頃の冬に雨が降る地中海性気候に属している。
- 問3 日本とニュージーランドの月別平均気温を比較すると、一方が高い時期に他方が低くなるという、正反対の変化が見られます。このような地理的特徴を活かした、日本によるニュージーランドからのかぼちゃの輸入に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 日本でかぼちゃが大量に収穫される夏から秋にかけて、価格を抑えるためにニュージーランドからも同時に輸入している。 2. 日本とニュージーランドには大きな時差があるため、輸送中の鮮度劣化を防げるという利点を活かして輸入している。 3. 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。 4. ニュージーランドは赤道直下に位置し一年中気温が高いため、日本の収穫時期に関わらず毎月一定量を輸入している。
- 問4 2022年の統計によると、オーストラリアの輸出相手先は中国が約29%、日本が約19%、韓国が約8%を占めており、特定の地域に向けた輸出が全体の過半数を超えています。現在のオーストラリアにとって、最も主要な貿易相手となっている地域を次の中から選びなさい。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ諸国 2. アフリカ諸国 3. アジア諸国 4. 北アメリカ諸国
- 問5 南アメリカのアンデス山脈沿いに位置する都市において、月平均気温の推移が「年間を通して10度から15度の間で横ばい」となり、降水量は5月から8月の冬にあたる時期に少なく、夏に多くなるという特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 赤道直下の低地であり、強い日射によって一年中気温が高く上昇気流が発達するから。 2. 高緯度の寒冷な地域に位置しており、偏西風の影響を強く受けているから。 3. 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。 4. 内陸の盆地に位置しており、夏と冬の気温の差が非常に大きくなるから。
- 問6 オセアニア州に属する多くの島国では、近年の地球温暖化に伴う海面上昇によって、国土が水没の危機にさらされるなど深刻な影響を受けています。このような地理的背景をもつオセアニア州の概要として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. ユーラシア大陸の西側に位置し、地中海を囲むようにして多くの国々が隣接している。 2. 赤道を挟んで北半球に位置し、世界で最も人口が密集している州である。 3. 広大なアマゾン川流域の熱帯雨林を抱え、アンデス山脈が縦断している。 4. 六つの州の中で最も陸地面積が小さく、多くのサンゴ礁の島々や火山島が含まれる。
- 問7 ブラジルの農業において、近年、世界市場での存在感が高まっている大豆の生産背景を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 都市近郊の限られた土地に化学肥料を大量に投入し、集約的な農業を行ったため 2. 伝統的な焼畑農業を大規模に継続し、自然のサイクルのみで生産量を増やしたため 3. 小規模な農家が協力し合い、すべて手作業で高品質な作物を生産しているため 4. 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため
- 問8 ブラジルの農産物生産統計において、2006年には約4億7741万トンであったある農作物の生産量が、2010年には約7億1746万トンへと短期間で大幅に増加しました。この農作物は、自動車などの燃料として利用されるバイオ燃料の原料となりますが、この農作物の名称として正しいものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. バナナ 2. コーヒー豆 3. オレンジ 4. さとうきび
- 問9 南アメリカ大陸の広大な国土を持つブラジルにおいて、沿岸部に集中していた人口や産業を分散させ、内陸部の開発を促進する目的で1960年に新たに建設された首都はどこですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
1. ブエノスアイレス 2. サンパウロ 3. リオデジャネイロ 4. ブラジリア
- 問10 オーストラリアの産業の分布について述べた次の記述のうち、大陸の北部から東部、および内陸部にかけて広く行われている農業と、大陸北西部の沿岸付近に主要な産出地が集中している地下資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 羊の飼育と石炭 2. 米の栽培とボーキサイト 3. 牛の放牧と鉄鉱石 4. 小麦の栽培と銅
- 問11 1960年代のブラジルにおける輸出総額の品目別割合を見ると、コーヒー豆などの特定の農産物が輸出の大部分を占めていました。このように、特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に国の経済が過度に依存している状態を何といいますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. プランテーション 2. 多角経営 3. 混合農業 4. モノカルチャー経済
- 問12 チリの輸出総額は、1993年の約92億ドルから2017年には約692億ドルへと大幅に増加しました。この期間の輸出相手国の変化について、1993年と2017年の状況を比較して説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 経済発展に伴い国内消費が増えたため、輸出総額は増えたものの輸出相手国の顔ぶれに変化は見られなかった。 2. 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。 3. アジア州の国々への輸出が伸び悩み、代わりに南アメリカ州内での近隣諸国との貿易が中心となった。 4. 輸出総額の増加に伴い、アメリカ合衆国の占める割合が首位を維持し続け、独占状態が強まった。
- 問13 世界の諸地域の農業・環境に関する統計において、森林面積の減少幅が約1980万ヘクタールに達しており、他の州と比較して圧倒的に森林が失われている地域があります。また、この地域は世界の穀物生産の約7パーセントを占める特徴も持っています。この統計が示している州として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ州 2. アフリカ州 3. 南アメリカ州 4. オセアニア州